



地域の中で学び育ち、 地域に笑顔をお届ける 子どもたちの学校

南魚沼市立 総合支援学校

魚沼サンティックススクールの一部を転用し、平成25年4月に新設した学校です。小学部から高等部まで、障がいのある子どもたちなどが、この学校で元気に学んでいます。

子どもたちが楽しく学び、成長していくためには、学校だけでなく、地域やさまざまな関係機関などが総合的に、子どもと家族を支えていくことが必要です。そんな思いから「総合支援学校」と名付けました。

以前は、魚沼市にある学校まで毎日通学する必要がありました。南魚沼で生まれた子どもを、この地で育てられることは、とても幸せなことです。この学校で育った子どもたちが、卒業後、地域に笑顔をお届けられる人になってほしいと願いを込め、教育活動を行っています。

- ◆児童生徒数 68人(小17人、中18人、高33人)
 - ◆職員数 44人
- ※平成26年4月1日現在

Education / Culture
The city with the joy of learning and nurturing a culture
Minamiuonuma City General Support School
 This new school opened April 2013, and part of Uonuma Sentic School was transferred to the new school. From elementary to high school students study with disabilities actively. As well as a school, it is necessary that various relative agency including region support a child and a family generally that children learn happily and grow up. With this intention, the school has been named "General Support School."



やってみよう



恋するフォーチュンクッキー
 [You Tube(ユーチューブ)で動画を発信]

教育目標

ここからからだだから
 笑顔あふれる子どもたち

学ぶ



市内すべてがキャンパス

個の特性に応じた指導

総合支援学校では、子ども一人ひとりに合った教科書や教材、授業内容で勉強をしています。また、自分の考えを伝えることが難しい子は、ICT機器を活用することで意思疎通などを行う方法を学んでいます。

まち全体をキャンパスに！

この言葉を合言葉に、校外での活動を積極的にしています。電車やバスを利用し、近くの施設に出かけたり、市役所で申請手続きの体験や地域にある田んぼで稲作体験、国際大生と二緒に行う体育祭など、地域の人々などとの交流を大切にしています。

また、子どもたちも交流を重ねる中であいさつや返事などのコミュニケーション能力が高まり、積極的になってきました。子どもたちは、頭をなでられたりなど、多くの人からあたたかく接してもらうことで、以前よりも自信がついたり、行動的になるなど、変化が生まれてきました。

地域のセンター機能

総合支援学校は、通常の学校としての役割のほかに、高い専門性を生かした南魚沼地域の小・中学校の特別支援教育を支援する役割を持っています。幼児や児童生徒、保護者への相談・支援のほかに、各施設の教員へのサポート活動も行っています。



地域交流



稲刈り



チャレンジ



ふれあい